

平成 31 年 3 月 29 日

## 緊急要望書

厚生労働大臣 根本 匠 殿

公益社団法人日本臨床腫瘍学会  
理事長 南 博信

### 製造メーカーによる出荷保留に伴うイダマイシン®静注用（イダルビシン） 供給不足解消のための海外製品緊急輸入許可の要望

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

3月6日、抗腫瘍性抗生物質製剤「イダマイシン®静注用 5mg」において、製造販売会社であるファイザー株式会社より、海外製造所での一時的な製造停止とその後の製造再開時期未定との状況から、供給不足になっているとの報告がありました。

未治療の若年成人急性骨髄性白血病に対しては、「アントラサイクリン・標準量シタラビン併用療法」が寛解導入療法の標準治療として推奨されています。イダルビシンは寛解導入療法において使用される薬剤であるとともに、同効薬のアントラサイクリンであるダウノルビシンで寛解導入できなかった場合には必須の薬剤であり、治療に欠かせません。ところが、同一成分の他の製品がなく、イダルビシンが使用できない状況は治療に大きな支障を来たします。

患者さんの状況に応じた幅広い選択肢をもって最適な治療を行うためにも、供給不足が解消するまでの期間、緊急対応として海外で使用されているイダルビシン注射剤を国内で使用できるよう至急輸入を御許可いただくことを要望いたします。